

資料1 完全版下入稿のお願い

カスタムゴボのデータ入稿に際しましては、完全版下での入稿をお願いします。

データの加工は版権の問題が絡んでおります。昨今の知的財産保護の厳格化という要請に照らしましても、当社でのデータ加工は原則行わないこととさせていただきます。

完全版下とは当社レーザーマシンでそのまま切削が可能なデータを指します。 レーザーマシンではイラストレーターフォーマット (.ai) を読み取り・変換を行い駆動部を制御します。 レーザーマシンでの変換時には通常のプリンタ制御・ポストスクリプトコマンドと異なる動作を可能にする完全版下にするために下記の条件を満たす必要があります。

1. 塗りつぶさるべきオブジェクトが閉じられたパスで構成されていること
2. グループ化されていないこと
3. 文字はアウトライン化されていること
4. 全て白塗りで構成されており、線の太さはないこと
5. クリッピングマスクが使用されていないこと
6. 各オブジェクトに重なりがないこと 上記は本資料3ページに詳細を記載しておりますのでご参照ください。

次に、データの受け渡しに際して誤解を避ける（どこをレーザーでカットするかを正確にする）ために下記のフォーマットをお願いします。

7. 黒レイヤーの上に、別レイヤーを作成し、そのレイヤーを透過するデザイン（ゴボで出したいデザイン）を白で表現する。これによって、抜く箇所が正確になります。
8. 実寸で作成すること。これによって、実際のサイズとビーム径の誤差表示が可能となります。
9. ゴボのデザインは光源側から見たイメージでデータ作成して下さい

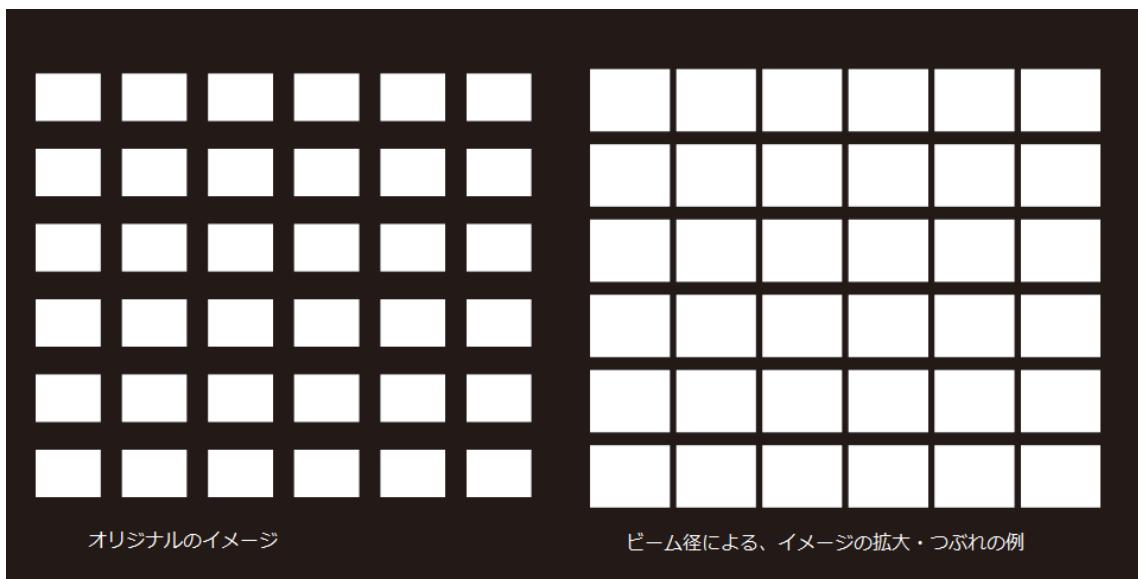
入稿データと仕上がりの違いにつきまして

当社のレーザーマシンは、レーザービームを用いてイラストレーターで作成され閉じられたパスのアウトラインをなぞり、その内側をレーザービームが塗りつぶしていくようにガラス蒸着面を削って作成しております。従いまして、レーザービーム径により、コーナー部の丸みの発生、ビーム径によるつぶれ・拡大が発生してしまいます。次項以降で具体的に説明致します。

ビーム径によるコーナーの丸み(この例ではわかりやすいように実際よりもレーザービーム径を大きく表現、または拡大して見た図で表現しています)



ビーム径によるイメージのつぶれ・拡大例



上記のように、いただいたデータと製品の間にはビーム径により、誤差が発生する点をあらかじめご了承いただけますようよろしくお願い申し上げます

完全版下の確認 1：閉じられたパスで構成されているかの確認

まず、表示メニューからアウトラインを選択しアウトライン表示にします

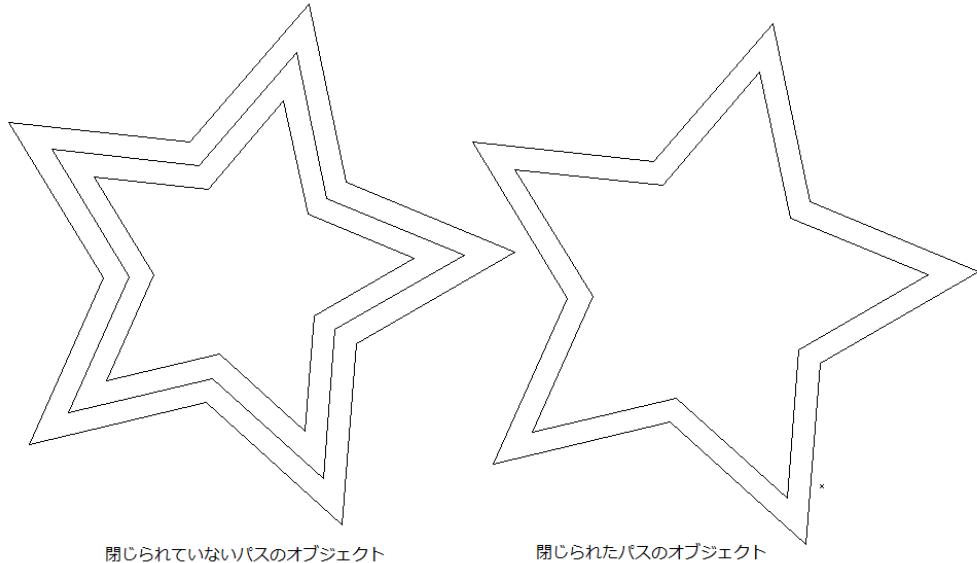


選択メニューから「すべてを選択」を選びます。



すべてが選択された状態で

オブジェクトメニュー > パス > パスのオフセットを選択し、ダイアログウィンドウで適当な数値を入れると



上図のように閉じられたパスのオブジェクトは、オブジェクトの外側のみオフセットがかかりますが、閉じられていないパスの場合は、オブジェクトの外側と内側にオフセットがかかります。上図左側のような場合は、塗りつぶすことができないので、この場合は端点（閉じられていないパスのそれぞれの両端）を探して結合を行ってください

2

：グループ化されていない事の確認

（1：）で説明したようにすべてを選択してください この状態で、オブジェクトメニューの「グループ解除」がグレー表示になっていることを確認してください

（黒く選択可能状態ならグループされているものあります）



3 : 文字がアウトライン化されているかの確認



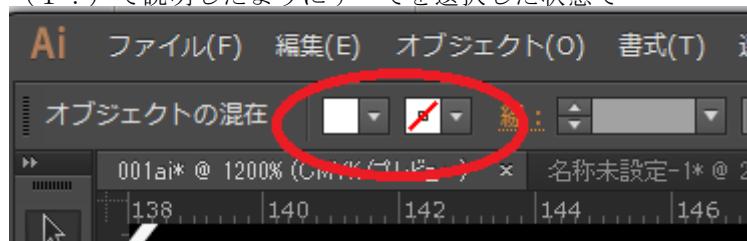
現在同じように見える（プレビュー状態です）文字もアウトライン表示にすると



アウトライン化されていない文字は、左下にアンカーポイントマークがついています

4 : すべて白塗りで線の太さがない事を確認するには

（1：）で説明したようにすべてを選択した状態で



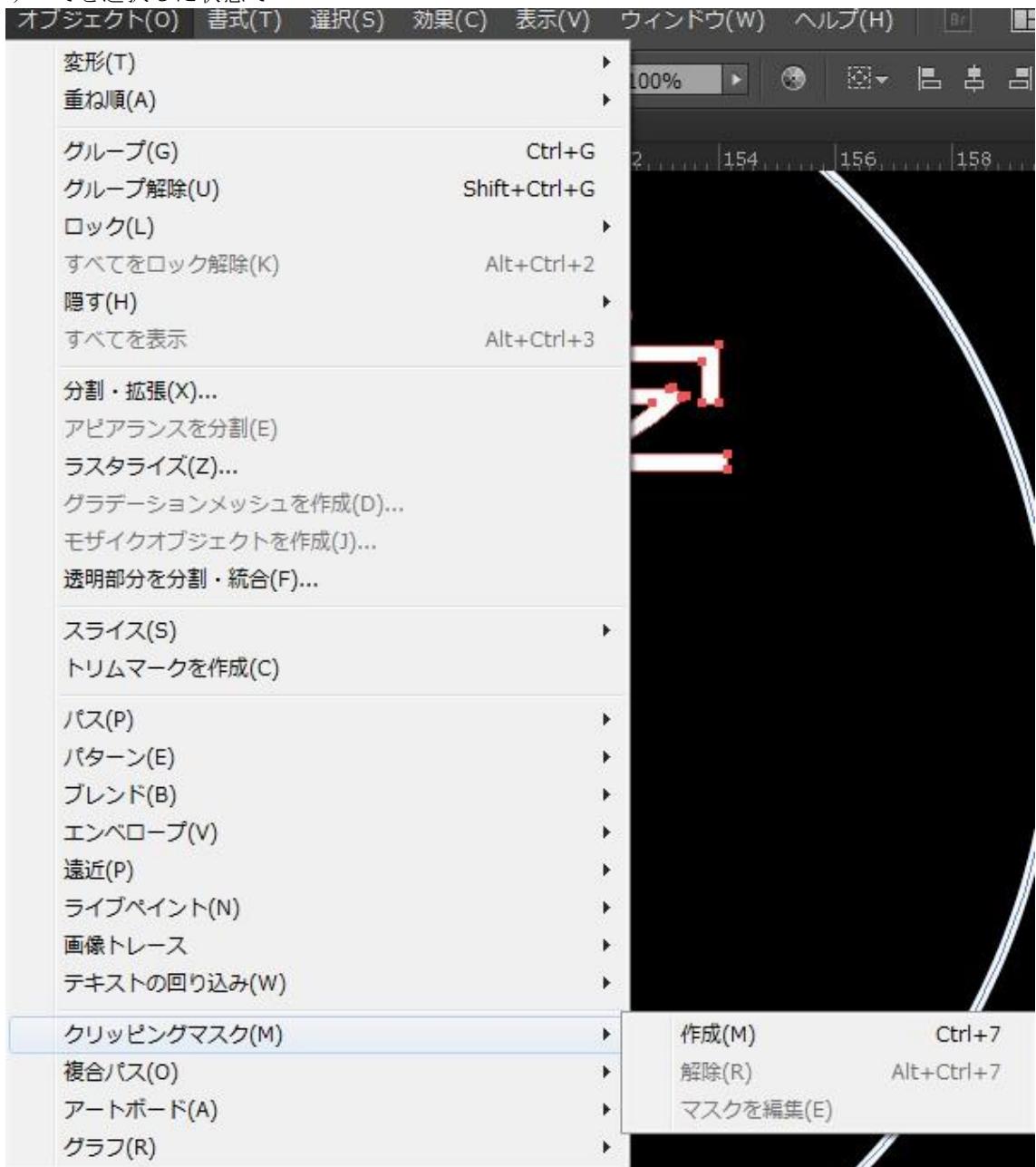
左上のメニューの赤丸で囲われているところが上記のようになっている必要があります



四角の中が「？」の場合は、色が違っていたり、線の太さがあつたりします

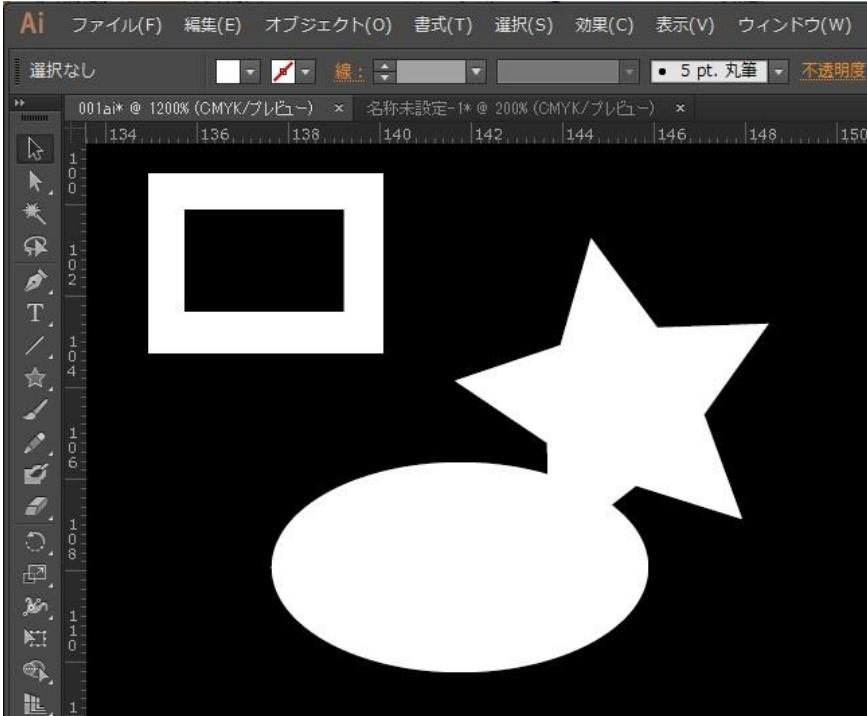
5 : クリッピングマスクが使用されていないこと

すべてを選択した状態で

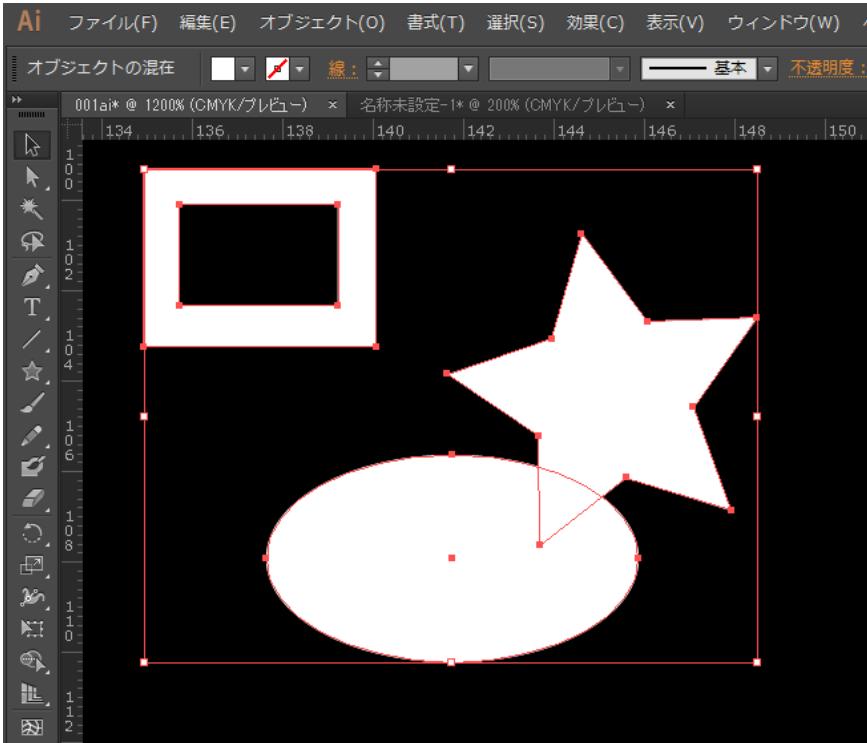


クリッピングマスクの「解除」がグレー表示であることを確認してください

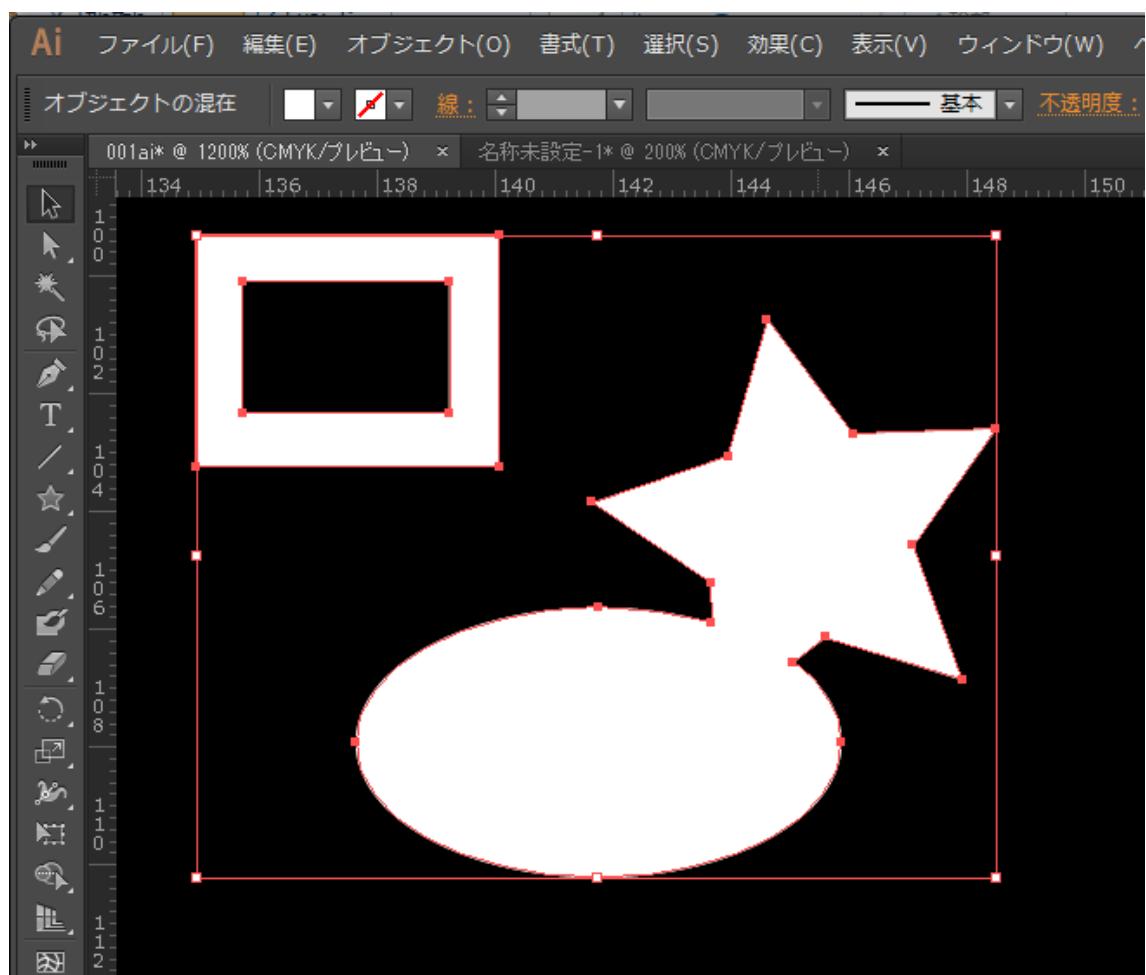
6 ; 各オブジェクトに重なりがない事



上の図では、問題ないように見えますが、すべてを選択すると



選択するとわかりますが、オブジェクト同士が重なっているところがあります このような、場合はパスファインダーの形状モード等を使って次ページのように重なりの無いオブジェクトにしてください



以上の点に留意していただき、完全版下での入稿をお願い申し上げます